

YMS 2019年度 解答速報

杏林大学医学部 前期



【生物（解答）】

I

- 問1 ⑤ 問2 ④ 問3 ④ 問4 ④ 問5 ③
問6 ⑧ 問7 ③ 問8 ④ 問9 ④・⑤ 問10 ⑤

II

- 問1 (1) アー1 イー6 (2) ウー0 エー2 オー9
問2 カー1 キー6 クー3
問3 (1) ケー③ コー② (2) サー①・③ シー②・⑥
問4 (1) スー③ (2) セー①

III

- 問1 アー③
問2 イー④
問3 ウー③ エー② オー①
問4 カー②
問5 キー①
問6 クー0 ケー3 コー8

(第三子において、初めてRh式血液型不適合妊娠を原因とする赤血球の溶血が起こると考えると、クー0 ケー2 コー5)



Ⅳ

- 問1 アー②
問2 イー0 ウー4 エー2 オー3
問3 カー③
問4 キー②
問5 クー⑤
問6 ケー①, ⑥
問7 コー③
問8 サー① シー②

【生物（講評）】

大問数は過去3年間3題であったが今年は4題で1題増えている。昨年度から、各大問のテーマがなくなり、小問集合の形式になり、今年度もそれに類似した形式であった。

大問Ⅰと大問Ⅱは、小問集合で、基本から標準レベルの難易度で昨年の出題を踏まえた問題と言える。

大問Ⅲと大問Ⅳは小問と大問の間の中問集合となっていて、大問ⅢはA, Bに大問ⅣはA, B, Cに分かれている。昨年度よりはやや難化しており、一次突破ラインは75%程度。